



〈行政の動向〉

- ・ **国際研究交流の概況**：文部科学省は、平成 23 年度における日本の国公立大学、高等専門学校、独立行政法人等（計 894 機関）と諸外国との研究交流状況等を調査・公表しています。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/06/1336744.htm
- ・ **第 1 回「国際的な Active Aging (活動的な高齢化) における日本の貢献に関する検討会」の開催**：厚生労働省はアジア諸国での高齢化の現状や、高齢化に関するニーズと対応策についての検討会を開催することとしました。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/06/1336042.htm
- ・ **「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議」第 4 回会議開催**：平成 25 年 6 月 10 日に開催されました。外部有識者として、桑田真澄氏、田辺陽子氏、吉永宏英氏、岡崎助一氏からのヒアリングが行われました。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/06/1335929.htm
- ・ **「運動部活動の在り方に関する調査研究報告書」**：全国的に運動部活動での指導における体罰を根絶するとともに、運動部活動の指導者を支援することを目指したガイドラインが作成されました。
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyuujitsu/_icsFiles/afieldfile/2013/05/27/1335529_1.pdf

〈文献〉

『体育学研究』 Vol. 58 (2013) No. 1

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjpehss/-char/ja/>

- ・ 遠藤 伸太郎ほか、Sense of Coherence (SOC) の高い大学生運動部員のスポーツ活動に伴う困難への対処：SOC の低い運動部員との比較に注目して
- ・ 藤林 献明ほか、水平片脚跳躍を用いたバリストティックな伸張-短縮サイクル運動の遂行能力と各種跳躍パフォーマンスとの関係
- ・ 下門 洋文ほか、大学生における 26 年間の体型と体力の推移とその関連性
『学校保健研究』 Vol. 55 (2013)
- ・ 木村達志、女子短期大学生の学生生活が蓄積的疲労感へ及ぼす影響について

〈学会・研修会等〉

- ・ **第 12 回大学開放フォーラム「公開講座におけるウエルネス教育」**、7 月 7 日（日）、上智大四谷キャンパス
- ・ **第 26 回日本ゴルフ学会大会**、8 月 3 日（土）～5 日（月）、武蔵野美術大鷹の台キャンパス
- ・ **第 1 回大学ゴルフ授業研究会**、8 月 9 日（金）、武蔵野美術大学新宿サテライト
- ・ **平成 25 年度 ICT 利用による教育改善研究発表会**、8 月 10 日（土）、東京理科大学森戸記念館
- ・ **第 15 回日・韓健康教育シンポジウム 兼 第 61 回日本教育医学会大会**、8 月 20 日（火）～21 日（水）、韓国・済州教育大学校
- ・ **大学体育指導者全国研修会**、8 月 21 日（水）～23 日（金）、ホテル竹島（蒲郡市竹島海岸）
- ・ **（社）日本女子体育連盟サマーセミナー 2013**、8 月 23 日（金）～24 日（土）、国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・ **第 64 回日本体育学会大会**、8 月 28 日（水）～30 日（金）、立命館びわこくさつキャンパス
- ・ **第 62 回九州体育・スポーツ学会**、9 月 14 日（土）～15 日（日）※プレセミナーは 13 日（金）、九州共立大
- ・ **第 16 回運動疫学研究会学術集会**、9 月 20 日（金）、国立健康・栄養研究所

<編集後記：『大学体育』101 号が 6 月 15 日に発行されました。中島寿宏（北海道工業大学）>